

日本地衣学会 ニュースレター

No.142

Newsletter from the Japanese Society for Lichenology

目次 会務報告	529
日本地衣学会評議員会（2016年7月16日）議事録／庶務幹事	529
日本地衣学会第15回大会総会報告／庶務幹事	532
2016年度第1回メール評議委員会報告／庶務幹事	532

会務報告 *Report of the JSL Activities*

日本地衣学会評議員会（2016年7月16日）議事録

Report of the JSL Councilors' Meeting at Gifu, 16 July 2016/ by TAKENAKA Yukiko

>>>>>>> 竹仲 由希子：庶務幹事

日時：平成28年7月16日(土) 午前10時00分～12時15分

場所：岐阜大学教育学部 教育学部本館（230 地学実験室）

参加者：（議長）河原 秀久，（評議員）山本 好和，原田 浩，原 光二郎，中嶋 裕之，川又 明德，（会長）棚橋 孝雄，（役員）竹仲 由希子，木下 靖浩，（編集委員長）小峰 正史

I. 2015年度事業報告

1. 会員数は、2016年7月9日 現在175名（一般117，学生24，海外一般20，海外学生4，有功1，団体3，名誉6）で、昨年より2名の減少であった。複数年にわたる年会費未納者に対する措置について、「IV.2. 学会経費運営について」で合わせて報告があった。

2. 以下の報告が承認された。

(1) 主催大会，観察会

① 日本地衣学会第14回大会・シンポジウム（ニュースレター No.131）が，中嶋裕之氏（久留米工業高等専門学校）を大会委員長として，久留米工業高等専門学校（福岡県久留米市）にて，7月4日～5日（参加者：29名，演題数：一般講演15題・シンポジウム4題・奨励賞受賞講演1題）に開催された。懇親会はプリチストンクラブ久留米で開催され30名が参加した。

② 第14回学会主催観察会が奥利根水源の森（群馬県利根郡みなかみ町）にて，9月19日～20日（参加者：20名）におこなわれた。

(2) 学会誌の刊行

① 学会誌 Lichenology 第14巻1号(2015.9月), 2号(2016.1月)が刊行された。2号は、少し遅れ今年度にすれ込んでしまった。

② 日本地衣学会ニュースレター発行 No.128～131

(3) 委員会報告

①地域活性化委員会:ワークショップおよび青空地衣教室は開催していない。

②学術交流委員会:自然史学会連合に平成27年度分担金20,000円支払った。日本分類学会連合に分担金10,000円支払った。

③ホームページ運営委員会:学会活動の広報、Twitterの活用を昨年の大会より始め、小学生などが見てくれているようだ。

(4) 日本の地衣フロラ解明プロジェクト

II. 2015年度決算報告・監査報告

報告は承認された。

III. 入・退会者承認

入会および退会について承認された。今後は、年度ごとにまとめて審議するのではなく、入会届けを受け付けた時点で、メールの評議委員会を開催し入会を承認することが決定された。

IV. 2016年度事業計画

1. 主催大会、観察会

(1) 日本地衣学会第15回大会(岐阜)が川上紳一大会委員長(岐阜聖徳学園大学)によって、岐阜大学と共催で岐阜大学教育学部(岐阜市柳戸)にて、7月16日～17日に開催される。

(2) 第15回学会主催観察会(計画案) 奈良県天川村洞川温泉, 御手洗溪谷にておこなう予定であるが、日程は(A案 10月1-2日, B案 10月8-9日,

C案 9月10-11日)は、宿泊場所が決定後、確定する。

2. 印刷物発行(編集委員会)

(1) 学会誌 Lichenology 第15巻1号(8月6日予定), 2号(12月予定)

(2) 日本地衣学会 ニュースレター(132号 7月14日, 他随時)

3. 委員会報告

(1) 地域活性化委員会

・第40回青空地衣教室 岐阜県各務原市・加茂郡にて、7月18日に開催される。

・ワークショップ(今年度の予定はなし)

(2) 学術交流委員会

・自然史学会連合, 日本分類学会連合 対応

(3) ホームページ運営委員会

・レンタルサーバのサービス終了に伴いサーバを変更する。(2016/10/03以降)

(4) 国際学会対応委員会

① 日本菌学会の60周年記念大会が今年京都大学であり、菌学会と地衣学会のサテライト ショータイムシンポジウムは、見送られたようである。

② アジア菌学会, 国際菌学会の日本開催を菌学会に打診があったが、現在情報はない。

③ 国際地衣学会(IAL8)がフィンランドのヘルシンキで8月1-5日に開催される。

(5) 日本の地衣フロラ解明プロジェクト

V. 2016年度予算案

予算案は承認された。

VI. 審議事項

1. 内規の改定（2016年度第1回メール評議員会で承認済み）

庶務幹事の交代に伴い、学会事務局の変更がなされ、

3月16日より実施することが決定した。

場所：〒658-8558 神戸市東灘区本山北町
4-19-1 神戸薬科大学 薬化学研究室

役員：会長 棚橋 孝雄 庶務幹事 竹仲 由希子 会計幹事 木下 靖浩

2. 学会経費運営について

①年会費振込依頼方法：年会費の未回収が多くなっている原因は、会員本人が何年分まで支払ったのかが分からなくなっているケースが多いと考えられるため、毎年12月に「年会費振込のお願い」を送付することを定常化する。またその際、未払年を記載した方が良いのではないかという意見が出された。さらに、発送費用の節約を考えると、学会誌に同封し送付することが望ましいため、可能な限り学会誌の発刊を12月におこなう。

②連絡不能国内会員：会計幹事よりメールにて、会費未納状況のお知らせ、督促、退会扱いの警告などの連絡をおこなったが、返事が受け取れていないことから、個人的な伝をたどり連絡を取ってもらうこととした。

③多年数滞納外国会員：会費を払う意志がないのではなく、払う方法がないために起こっている事態だと考えられることから、海外からでも入金できるシステムを早急に構築する方向で進めていくこととした。

④学生会員の継続認定：卒業後、退会届が提出されないうまま連絡が取れなくなるケースが多いため、入会時に指導教員または保護者の氏名および連絡先を記載してもらい、退会または継続の意思確認を責任をもっておこなってもらうこととした。

3. 第16回日本地衣学会大会開催場所および日程について

大会委員長 高知大学理学部 松井透先生より、下記の日程が提案され、承認された。

日時：2017年7月15日(土)～17日(月)

会場：高知大学理学部情報科学棟

7月15日(土) 評議員会、総会、シンポジウム、懇親会

7月16日(日) 一般講演

7月17日(月) 青空地衣教室

第17回日本地衣学会大会については、栃木県立博物館の坂井さんに打診したところ、7月中の開催は無理であるが、9月の第1土、日であれば可能とのことであった。この日程で準備を進めることが承認された。

4. 学生発表B賞を名古屋大(元、秋田県大)石原 峻さん、千葉大 吉野 花奈美さんに授与することが決定された。

5. 会計幹事を来年1月より、秋田県大の原 光二郎先生に交代することが決定された。

6. ニュースレター編集委員長を中嶋 裕之さんにお問い合わせするとともに、新編集委員を若干名加えることが承認された。

日本地衣学会第15回大会総会報告

Report of the General meeting at 15th Annual Meeting of the Japanese Society for Lichenology, 16 July 2016/ by TAKENAKA Yukiko

>>>>>> 竹仲 由希子：庶務幹事

日本地衣学会第15回大会総会を2016年7月16日、岐阜大学教育学部にて開催いたしました。棚橋孝雄会長より挨拶があり、引き続き竹仲庶務幹事が当日午前中に開催された評議委員会での報告事項、審議事項、承認事項について報告いたしました。また、第16回

大会委員長（高知大学理学部 松井透先生）がおいで下さっていましたので、ご挨拶して頂きました。特に質問、コメントはありませんでした。以上、皆様のご協力を得まして、滞りなく総会を終了することができました。

2016年度第1回メール評議委員会報告

Report of the 1st Email-Meeting of JSL Councilors in 2016/ by TAKENAKA Yukiko

>>>>>> 竹仲 由希子：庶務幹事

棚橋会長の「内規の改定を議題とする開催」要請に応じ、河原氏を議長として、3月10日から3月16日まで開催された。下記の案件について評議し、評議員6名（議長を除く）全員から承認された。

規の改正が必要となった。

改定案

場所：〒658-8558 神戸市東灘区本山北町
4-19-1 神戸薬科大学 薬化学研究室

役員：会長 棚橋 孝雄 庶務幹事 竹仲 由希子
会計幹事 木下 靖浩

—記—

2016年1月より庶務幹事の交代に伴い、事務局内

●複製される方へ

本誌に掲載された著作物を複製したい方は、許諾を受けてください。詳細は本誌 102号 378 ページに。

●Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission. For details, see No. 102, p. 378 of this publication.

●*Newsletter from the Japanese Society for Lichenology*, no. 142, pp. 529-532: eds. Nakashima H., Bando M., Kawakami H. & Harada H., published by *the Japanese Society for Lichenology*, 27 Feb. 2017.

日本地衣学会ニュースレター 142号

発行日：2017年 2月 27日

編集：中島裕之・坂東誠・川上寛子・原田浩

発行者・発行所：日本地衣学会

〒658-8558神戸市東灘区本山北町4-19-1

神戸薬科大学 薬化学研究室

©2017日本地衣学会 (© 2017 The Japanese Society for Lichenology)

本誌記事の著作権は日本地衣学会に属します。無断転載・無断複写等は固くお断りいたします。